

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成28年8月25日(2016.8.25)

【公表番号】特表2015-529050(P2015-529050A)

【公表日】平成27年10月1日(2015.10.1)

【年通号数】公開・登録公報2015-061

【出願番号】特願2015-524416(P2015-524416)

【国際特許分類】

H 04 W	92/18	(2009.01)
H 04 W	8/00	(2009.01)
H 04 W	48/10	(2009.01)
H 04 W	74/08	(2009.01)
H 04 M	3/42	(2006.01)

【F I】

H 04 W	92/18	
H 04 W	8/00	1 1 0
H 04 W	48/10	
H 04 W	74/08	
H 04 M	3/42	Q
H 04 M	3/42	U

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月6日(2016.7.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ロングタームエボリューション(LET)ワイヤレス通信ネットワークにおいて情報を送信する方法であって、

ピアを探索しているユーザ機器(UE)の第1のUE口케ーション情報を受信すること、

前記ピアのうちの少なくとも1つの、第2のUE口ケーション情報を受信することと、前記第1および第2のUE口ケーション情報にしたがって、前記ピアのうち前記UEに近接したピアをマッチングすることと、

前記ピアの存在について前記UEにアラートするためにデータ交換効率技法を使用して送信することと、ここにおいて、前記送信は、広域ネットワーク(WAN)固有のシグナリングを含み、前記データ交換効率技法の前記使用は、前記口ケーション情報の変化のレートに基づく、

を備える、方法。

【請求項2】

前記送信のための前記データ交換効率技法は、ページングチャネルを使用すること、および半持続的スケジューリングを使用することから成るグループから選択される、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記WAN固有のシグナリングは、ユーザデータグラムプロトコル(UDP)プロトコルの使用を含む、請求項1に記載の方法。

**【請求項 4】**

前記データ交換効率技法は、ブロードキャストチャネルを使用することを含む、請求項1に記載の方法。

**【請求項 5】**

前記WAN固有のシグナリングは、LTE非トラフィックチャネルを含む、請求項1に記載の方法。

**【請求項 6】**

ロングタームエボリューション(LTE)ワイヤレス通信ネットワークにおいてピア発見情報を交換する方法であって、

データ交換効率技法を使用して、ピアを探索しているUEによって、第1のユーザ機器(UE)口ケーション情報を1番目に送信することと、ここにおいて、前記1番目に送信することは、広域ネットワーク(WAN)固有のシグナリングを含み、前記データ交換効率技法の前記使用は、前記口ケーション情報の変化のレートに基づく、

前記データ交換効率技法を使用して、前記ピアのうちの少なくとも1つの、要求されたマッチングを、2番目に送信することと、ここにおいて、前記2番目に送信することは、前記広域ネットワーク(WAN)固有のシグナリングを含む、

前記ピアの存在について前記UEにアラートするために、前記要求に応答して、マッチングを受信すること

を備える、方法。

**【請求項 7】**

前記データ交換効率技法は、ランダムアクセスチャネルを使用すること、および半持続的スケジューリングを使用することから成るグループから選択される、請求項6に記載の方法。

**【請求項 8】**

前記半持続的スケジューリングは、周期的なサウンディング参照信号(SRS)を用いた半持続的スケジューリングを含む、請求項7に記載の方法。

**【請求項 9】**

前記WAN固有のシグナリングは、UDPプロトコルの使用を含む、請求項6に記載の方法。

**【請求項 10】**

前記WAN固有のシグナリングは、LTE非トラフィックチャネルを含む、請求項6に記載の方法。

**【請求項 11】**

ロングタームエボリューション(LTE)ワイヤレス通信ネットワークにおいてピア発見情報を送信するための基地局であって、

ピアを探索しているユーザ機器(UE)の第1のUE口ケーション情報を受信するための手段と、

前記ピアのうちの少なくとも1つの、第2のUE口ケーション情報を受信するための手段と、

前記ピアのうち前記第1および第2のUE口ケーション情報に近接したピアをマッチングするための手段と、

前記ピアの存在について前記UEにアラートするためにデータ交換効率技法を使用して送信するための手段と、ここにおいて、前記送信は、広域ネットワーク(WAN)固有のシグナリングを含み、前記データ交換効率技法の前記使用は、前記口ケーション情報の変化のレートに基づく、

を備える、基地局。

**【請求項 12】**

前記送信のための前記データ交換効率技法は、ページングチャネルを使用すること、および半持続的スケジューリングを使用することから成るグループから選択される、請求項11に記載の基地局。

**【請求項 1 3】**

ロングタームエボリューション( L T E ) ワイヤレス通信ネットワークにおいてピア発見情報を交換するためのユーザ機器( U E ) であって、

データ交換効率技法を使用して、ピアを探索している前記 U E によって、第 1 の U E 口ケーション情報を 1 番目に送信するための手段と、ここにおいて、前記 1 番目に送信することは、広域ネットワーク( W A N ) 固有のシグナリングを含み、前記データ交換効率技法の前記使用は、前記口ケーション情報の変化のレートに基づく、

前記データ交換効率技法を使用して、前記ピアのうちの少なくとも 1 つの、要求されたマッチングを、2 番目に送信するための手段と、ここにおいて、前記 2 番目に送信することは、前記 W A N 固有のシグナリングを含む、

前記ピアの存在について前記 U E にアラートするために、前記要求に応答して、マッチングを受信するための手段と

を備える、 U E 。

**【請求項 1 4】**

前記 1 番目に送信することおよび前記 2 番目に送信することのための前記データ交換効率技法は、ランダムアクセスチャネルを使用すること、および半持続的スケジューリングを使用することから成るグループから選択される、請求項1 3 に記載の U E 。

**【請求項 1 5】**

実行されたときに請求項 1 ~ 請求項 1 0 のいずれか一項に記載の方法を少なくとも 1 つのコンピュータに実行させる、実行可能な命令を備えるコンピュータプログラム。